

盛岡市総合計画実施計画

一 令和元年度実績（戦略プロジェクト） 一

目次

戦略プロジェクトの概要	1
重点1 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト	3
重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト	7
重点3 2020あつまる・つながるまちプロジェクト	12

■ 戦略プロジェクトについて

基本目標を達成するため、各分野の29施策において、それぞれ取組を推進していく一方で、未来に向け、特に重点的・施策横断的に取り組む必要のある課題に対応するため、施策単位での取組を連携させながら事業実施の効果を高め、課題を解決し、基本目標の達成や将来像の実現を目指していく必要があります。

このことから、「社会の潮流」や「まちづくりを考える上で重視する視点」等から導かれる本市の課題を踏まえた、重点的・施策横断的な取組を「戦略プロジェクト」として展開します。

■ 戦略プロジェクトの取扱い

戦略プロジェクトは、毎年見直しを行い、戦略プロジェクトの加除のほか、戦略プロジェクトを構成する重点事業の加除を行いながら、弾力的で効果的な運用を図ります。

■ 施策間の連携

「戦略プロジェクト」に掲げる事業は、「まちづくりの取組」に掲げる施策の中に含まれますが、施策横断的に取り組むことにより、効果的な連携を図ります。

■ 取組期間

概ね3年を目途に重点を置いた取組を進めます。

■ 取組項目（令和元年度）

重点1 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト（3年目*¹）

重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト（2年目*²）

重点3 2020あつまる・つながるまちプロジェクト（2年目*²）

*¹ 重点1は、令和元年度が取組期間の最終年度となります。

*² 重点2及び重点3は、令和2年度が取組期間の最終年度となります。

資料の見方

戦略プロジェクトごとに主な取組内容を掲載しています。

重点1 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト（取組期間：平成29年度～令和元年度）

本市の魅力ある農畜産物などの地域資源を活用した取組を進めるとともに、関連する食品関連産業やものづくり関連産業の高付加価値化や操業環境整備の取組により産業の振興を図りました。

また、戦略的な企業誘致や企業支援のほか、新たな市場開拓や新商品開発等を目的とした異業種交流の促進により、活力あふれるまちづくりを推進しました。

戦略プロジェクトを構成する重点事業ごとに計画額と実績を掲載しています。

(単位 千円)

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
1	食と農のバリューアップ推進事業	21	20,615	22,319	0
2	食と農のバリューアップ推進事業 (6次産業化等スタートアップ支援補助金)	21	5,000	4,079	0

・ 新規就農支援事業

前年度までの農業次世代人材投資資金交付対象者が交付期間を終え、交付対象者が減少したため、実績額が小さくなりました。

計画額と実績額の乖離が大きい事業があった場合、要因を掲載しています。

進捗を客観的に測るために設定した指標の状況や分析結果を掲載しています。

- ・「性格」欄の「↑」は数値を上げていくことを、「↓」は数値を下げていくことを、「→」は現状を維持していくことを目標としています。
- ・「状況」欄の「◎」は非常に順調に進捗、「○」は順調に進捗、「△」は遅れが生じていることを表します。

【成果指標等の状況】

指標	性格	単位	状況	戦略プロジェクトの目標値・実績値の推移	
農畜産物加工品販売額	↑	百万円	◎		

・ 農畜産物加工品販売額／◎ 非常に順調

平成30年度から目標値を達成しています。6次産業化等スタートアップ支援事業や新規就農者支援事業、畜産振興事業の効果が表れていると考えられます。

令和元年度の取組による主な成果と課題を掲載しています。

■ 主な成果と課題

- ・ 農林業の振興

…

指標の分析、主な成果と課題を踏まえた今後の方向性を掲載しています。

■ 今後の方向性

- ・ 農林業の振興

…

重点1 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト（取組期間：平成29年度～令和元年度）

本市の魅力ある農畜産物などの地域資源を活用した取組を進めるとともに、関連する食品関連産業やものづくり関連産業の高付加価値化や操業環境整備の取組により産業の振興を図りました。

また、戦略的な企業誘致や企業支援のほか、新たな市場開拓や新商品開発等を目的とした異業種交流の促進により、活力あふれるまちづくりを推進しました。

重点事業の実績

(単位 千円)

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
1	食と農のバリューアップ推進事業	21	20,615	22,319	0
2	食と農のバリューアップ推進事業 (6次産業化等スタートアップ支援補助金)	21	5,000	4,079	0
3	盛岡の食材プロモーション事業	21	1,866	1,866	0
4	盛岡の食材プロモーション事業 (もりおか食材ホストタウン等おもてなし事業)	21	450	450	0
5	新規就農支援事業	21	21,678	16,942	0
6	畜産振興事業 (もりおか短角牛振興事業)	21	300	300	0
7	畜産振興事業 (もりおか短角牛肥育経営安定化対策事業)	21	5,000	3,694	0
8	畜産振興事業 (短角牛生産対策事業)	21	140	120	0
9	地域おこし協力隊活用事業(玉山地域)	21	15,976	14,292	0
10	地域おこし協力隊活用事業(大ケ生地域)	21	7,994	7,886	0
11	地域おこし協力隊活用事業(築川地域)	21	4,000	2,449	0
12	地域おこし協力隊活用事業(猪去地区)	21	8,000	3,113	0
13	商店街活性化支援事業 (まちなか出店促進事業)	22	2,800	2,191	0
14	新産業等用地整備事業	23	495,811	184,786	0
15	工場新設拡充等事業	23	53,978	64,394	0
16	工業振興事業 (製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金)	23	800	800	0
17	産業支援事業	23	1,772	1,726	0
18	成長分野拠点形成支援事業	23	22,360	20,290	0

(単位 千円)

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
19	ものづくり産業魅力向上事業	23	2,122	2,122	0
20	ものづくり人材育成事業	23	138	65	0
21	盛岡テクノミュージアム設置事業	23	799	530	0
22	地場・伝統産業振興事業 (特産品ブランド振興事業)	23	194	77	0
23	道の駅設置事業	24	54,994	6,088	0
全23事業 事業費合計			726,787	360,579	0

- ・ **新規就農支援事業**

農業次世代人材投資資金及び親元就農給付金の新規の交付対象者が、当初の見込みを下回ったため、実績額が小さくなりました。

- ・ **畜産振興事業（もりおか短角牛肥育経営安定化対策事業）**

前年より、購入頭数が下回り、子牛購入価格も下回ったため、実績額が小さくなりました。

- ・ **地域おこし協力隊活用事業（築川地域）**

隊員が年度途中で退任したため、実績額が小さくなりました。

- ・ **地域おこし協力隊活用事業（猪去地区）**

隊員1人が年度途中での任用であったこと、定員が2名だが1名の欠員状態が継続中であることにより、実績額が小さくなりました。

- ・ **商店街活性化支援事業（まちなか出店促進事業）**

空き店舗補助金の補助額が1件あたり限度額に満たないものがあつたこと及び盛岡市「食と農」・「ものづくり」の魅力ある店舗促進事業補助金について、予算額に対し申請数が少なかったことにより、実績額が小さくなりました。

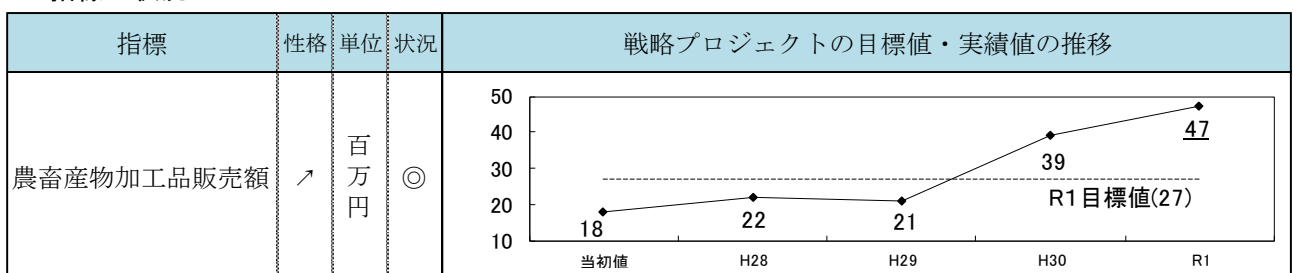
- ・ **新産業等用地整備事業**

契約差金による土砂運搬業務委託料が減少したこと及び工事工程の見直しによる基盤整備工事請負費の減少したことにより、実績額が小さくなりました。

- ・ **道の駅設置事業**

運営候補者の公募に係る諸条件の検討・整理等に時間を要し、基本設計業務委託（一部は実施）及び道の駅プロデュース業務委託のが未施行となったこと等により、実績額が小さくなりました。

■ 指標の状況



指標	性格	単位	状況	戦略プロジェクトの目標値・実績値の推移																		
製造業粗付加価値額*1	↑	千万円	◎	<table border="1"> <caption>製造業粗付加価値額推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>4,209</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>5,583</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>4,716</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4,485</td> <td>4,377</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4,766</td> <td>4,377</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	4,209	-	H28	5,583	-	H29	4,716	-	H30	4,485	4,377	R1	4,766	4,377
年度	実績値	目標値																				
当初値	4,209	-																				
H28	5,583	-																				
H29	4,716	-																				
H30	4,485	4,377																				
R1	4,766	4,377																				
異業種交流における商談成立件数*2	↑	件	◎	<table border="1"> <caption>異業種交流における商談成立件数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>27</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>43</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>76</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>120</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	27	-	H28	43	-	H29	76	-	H30	110	110	R1	120	110
年度	実績値	目標値																				
当初値	27	-																				
H28	43	-																				
H29	76	-																				
H30	110	110																				
R1	120	110																				

*1 売上高から原材料費や仕入原価などの変動費を差し引いたものです。

*2 異業種交流における商談成立件数の目標値及び実績値は、平成27年度からの累計です。

・ **農畜産物加工品販売額**／◎ **非常に順調**

平成30年度から目標値を達成しています。6次産業化等スタートアップ支援事業や新規就農者支援事業、畜産振興事業の効果が表れていると考えられます。

・ **製造業粗付加価値額**／◎ **非常に順調**

経済情勢が上向きであり、設備投資が増加傾向だったことが要因と考えられます。

・ **異業種交流における商談成立件数**／◎ **非常に順調**

新規出展者や盛岡産農畜産物を活用している事業者の出展が増加したことが商談成立件数の増加につながったと考えられます。

■ **主な成果と課題**

・ **農林業の振興**

生産者、事業者、消費者が一体となった「美食王国もりおか」の実現に向け、「畑のお手伝いプロジェクト」「盛岡美食の夜」の開催による農業体験・消費の機会創出、「6次産業化等スタートアップ支援事業」による商品開発・販路開拓の支援に取り組み、盛岡産農畜産物の高付加価値化や販路拡大のほか、ホストタウン等キャンプ受入時の歓迎レセプションによるおもてなしを通して、盛岡市特産食材の魅力発信に努めました。

新規就農者の確保・育成に向け、市単独の親元就農給付金制度などの取組を推進し、11名の新規就農者を確保しました。

特産食材である「もりおか短角牛」の出荷頭数の増加に向け、肥育農家の子牛購入経費の一部を助成する制度を活用し、肥育経営の安定化に取り組みました。

今後の課題としては、ポータルサイト「美食王国もりおか」の基盤を活かし、盛岡産農畜産物のさらなるPRや高付加価値化と輸出支援を含めた販路拡大に努める必要があるほか、農林業の新たな担い手の育成・確保に向けた支援などが挙げられます。

・ **工業の振興**

経済情勢が上向きであること等により、企業の設備投資が増加傾向にあり、指標向上に寄与しています。

一方で、市内に製造業等の産業用地がほとんどない状況にあり、地場企業の業務拡張、創業環境の向上に支障をきたすとともに、市内に新たに立地しようとする企業に用地を斡旋できない状況にあります。これは、産業支援施設入居企業の退去後の受け皿についても同様の状況です。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、市内製造業にも売上減少の影響が出てきていることから、状況に応じた支援が必要となるほか、社会経済情勢を捉え、将来に向けた取組を実施する必要があります。

- ・ **商業・サービス業の振興**

商談成立件数が伸びています。これは、生産者とバイヤーそれぞれのニーズに合った事業者へ参加を呼びかけたことで、商談会の魅力が向上したことや、「食材活用セミナー」を開催したことが寄与したと考えられます。

一方、課題として、参加事業者が固定化する傾向にあることから、更に事業の周知や参加事業者の掘り起こしに取り組む必要があります。

- **今後の方向性**

- ・ **農林業の振興**

盛岡への来訪者・新規就農者・食に関わる者や林業の担い手の増加に向け、多様な主体による交流を進め、本市の農林業における地場産業の基盤の安定化と魅力向上により、地域経済の活力化を図ります。また、人口減少に伴う食市場規模の縮小を見据え、盛岡産農畜産物の輸出支援による販路拡大に向けた取組を進めます。

新規就農者の確保と育成に向け、親元就農給付金制度や、農業の効率化・生産性の向上に向けたスマート農業の導入促進のほか、盛岡りんごの担い手支援など新たなニーズに対応しながら、新たな担い手の掘り起こしにつなげる取組を行います。

- ・ **工業の振興**

地場企業の経営力強化や産学官連携、新事業育成支援、創業・起業支援の取組を推進するとともに、道明地区新産業等用地の整備を進め、企業の集積と生産基盤の拡充促進を図ります。

また、成長分野である医療機器製造、ライフサイエンス、ヘルスケア関連産業の集積を進めるため、関係企業の海外展開やクラスター形成の支援を進めるほか、県やTOLIC、盛岡ヘルスケア産業協議会などの関係団体との連携強化を図ります。

加えて、新型コロナウイルス感染症の影響拡大が見込まれることから、新たな生活様式の中で、経済活動を維持継続できるよう支援策を講じながら取り組んでいくとともに、国内回帰や拠点の分散化などの動向も的確に捉えて取り組みます。

- ・ **商業・サービス業の振興**

異業種交流による商談会や魅力ある商店街・個店づくり、集客イベントの開催支援など、関係団体と連携を図りながら、取組を強化します。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が当面の間続くと見込まれることから、新たな生活様式の中で、経済活動を維持継続できるよう支援策を講じながら取り組みます。

重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト（取組期間：平成30年度～令和2年度）

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実させました。

また、子育ての相談や子どもの健全な成長を支援する体制の充実を図り、盛岡に住み続けたいと思える、安心して子育てのできるまちの実現を図りました。

重点事業の実績

(単位 千円)

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
1	待機児童解消強化事業 (定員弾力化補助金)	2	11,700	10,800	0
2	特別保育事業 (延長保育実施施設の拡充)	2	125,286	108,405	0
3	保育士確保対策事業 (保育士生活支援補助, 保育士の質の向上支援)	2	7,481	7,608	0
4	保育士確保対策事業 (宿舍借上げ支援等)	2	51,872	41,296	0
5	保育士確保対策事業 (保育士処遇改善支援補助)	2	11,250	5,205	0
6	私立児童福祉施設整備助成事業	2	795,611	65,480	652,832
7	私立児童福祉施設整備助成事業 (遊休物件活用整備)	2	58,302	56,794	0
8	児童館管理運営事業 (児童厚生員の適正配置)	2	9,060	12,516	0
9	児童館整備事業 (見前第二児童センター整備)	2	6,190	5,122	0
10	児童福祉施設環境改善事業 (公立施設エアコン設置)	2	38,790	21,847	0
11	児童福祉施設環境改善事業 (私立施設エアコン設置補助)	2	37,200	22,177	0
12	児童福祉施設環境整備事業 (公立施設トイレの洋式化)	2	31,893	29,837	0
13	子ども・子育て支援事業計画推進事業	2	851	595	0
14	子ども未来基金事業	2	28,072	34,416	0
15	子育て世代包括支援センター事業	2	9,978	9,992	461
16	子育て応援プラザ運営事業	2	24,865	24,864	0
17	子ども家庭総合支援センター事業	2	18,256	18,252	0
18	養育支援訪問(家事援助)事業	2	2,284	63	0

(単位 千円)

No.	重点事業	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
19	母子保健事業（乳児家庭全戸訪問等事業）	2	5,769	5,563	0
20	母子保健事業 （産婦健康診査事業）	2	18,271	18,541	0
21	母子保健事業 （産後ケア事業）	2	769	568	0
22	母子保健事業 （新生児聴覚検査事業）	2	8,688	6,942	0
23	小児救急輪番制病院事業	2	20,122	20,121	0
24	医療費給付事業 （妊産婦，乳幼児，小学生，中学生）	2	912,494	935,191	0
25	子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業	2	3,000	0	0
26	夜間急患診療所管理運営事業	4	73,934	72,504	0
27	予防接種事業 （幼児・児童インフルエンザ予防接種補助事業）	4	71,871	74,325	0
28	小中学校等環境整備事業 （公立施設トイレの洋式化）	17	53,607	56,068	0
29	小中学校等環境整備事業 （公立施設エアコン設置） ※平成30年3月補正（前倒し補正）により実施	17	4,036,913	3,408,995	0
30	就学援助事業（小学校）	17	7,390	8,349	0
31	就学援助事業（中学校）	17	20,310	19,863	0
32	ワーク・ライフ・バランス推進事業	19	9,361	9,360	0
全32事業 事業費計			6,511,440	5,111,659	653,293

- ・ 保育士確保対策事業（宿舍借上げ支援等，保育士処遇改善支援補助）
補助対象者数が当初の見込みを下回ったことにより，実績額が小さくなりました。
- ・ 児童館管理運営事業（児童厚生員の適正配置）
児童厚生員配置基準見直しにより，実績額が大きくなりました。
- ・ 児童福祉施設環境改善事業（公立施設エアコン設置）
入札により，金額が見込みより低くなったことにより，実績額が小さくなりました。
- ・ 児童福祉施設環境改善事業（私立施設エアコン設置補助）
各施設における平均設置単価が抑えられたことなどにより，実績額が小さくなりました。
- ・ 児童福祉施設環境整備事業（公立施設トイレの洋式化）
入札により，金額が見込みより低くなったことにより，実績額が小さくなりました。
- ・ 子ども未来基金事業
当初の見込みより採択事業が多かったことにより，実績額が大きくなりました。

- ・ 養育支援訪問（家事援助）事業

支援ニーズは認められるものの、第三者が家庭に入る抵抗感からサービス利用に至らない世帯が多く、実績額が小さくなりました。

- ・ 母子保健事業（新生児聴覚検査事業）

事業開始初年度であり、事業の周知度が低く、事業の定着が不十分だったことにより、実績額が小さくなりました。

- ・ 子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業

事業へ応募する事業者等がなく、実績がありませんでした。

- ・ 小中学校等環境整備事業（公立施設エアコン設置）

委託料（実施設計、工事監理）及び工事請負費の契約差金があったため、実績額が小さくなりました。

■ 指標の状況

指標	性格	単位	状況	戦略プロジェクトの目標値・実績値の推移												
1月1日現在の待機児童数	↓	人	○	<table border="1"> <caption>待機児童数推移</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>数値</th><td>218</td><td>180</td><td>84</td><td>40</td><td>0 (R2目標値)</td></tr> </table>	年度	当初値	H29	H30	R1	R2	数値	218	180	84	40	0 (R2目標値)
年度	当初値	H29	H30	R1	R2											
数値	218	180	84	40	0 (R2目標値)											
まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合* 1, 2	↓	%	○	<table border="1"> <caption>子育てをつらいと感じている親の割合推移</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>割合</th><td>24.0</td><td>30.0</td><td>24.7</td><td>19.2</td><td>13.6 (R2目標値)</td></tr> </table>	年度	当初値	H29	H30	R1	R2	割合	24.0	30.0	24.7	19.2	13.6 (R2目標値)
年度	当初値	H29	H30	R1	R2											
割合	24.0	30.0	24.7	19.2	13.6 (R2目標値)											
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	↑	%	△	<table border="1"> <caption>支援策・支援活動が充実していると感じる市民の割合推移</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>割合</th><td>15.2</td><td>15.9</td><td>19.9</td><td>18.9</td><td>42.0 (R2目標値)</td></tr> </table>	年度	当初値	H29	H30	R1	R2	割合	15.2	15.9	19.9	18.9	42.0 (R2目標値)
年度	当初値	H29	H30	R1	R2											
割合	15.2	15.9	19.9	18.9	42.0 (R2目標値)											
【参考】 まちづくり評価アンケート調査「子育てを楽しんでいる」と答えた子どものいる親の割合	↑	%	○	<table border="1"> <caption>子育てを楽しんでいる親の割合推移</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>割合</th><td>74.0</td><td>70.0</td><td>74.2</td><td>79.7</td><td>80.0 (R2目標値)</td></tr> </table>	年度	当初値	H29	H30	R1	R2	割合	74.0	70.0	74.2	79.7	80.0 (R2目標値)
年度	当初値	H29	H30	R1	R2											
割合	74.0	70.0	74.2	79.7	80.0 (R2目標値)											

*1 令和元年度実績の内訳は、『「楽しい」と「つらい」が同じくらい』が16.9%、『どちらかといえば「つらい」と感じる人が多い』が1.2%、『「つらい」と感じる人が多い』が1.2%です。四捨五入の関係で合計は19.2%となります。

*2 令和2年度から指標を「まちづくり評価アンケート調査「子育てを楽しいと感じている」と答えた子どものいる親の割合」に変更しています。

- ・ 1月1日現在の待機児童数／○ 順調に進捗

順調に目指すべき方向に進んでいます。社会福祉法人等からの保育所開設相談に応じるとともに、遊休物件を活用した小規模保育所の整備を行ったことや、定員を超えた児童の受け入れに対する補助の基準日を年2回としたこと、若手保育士が働き続けられるよう経済的支援の拡大による保育士確保が要因と考えられます。一方で、女性の社会進出が増加するとともに、育児休業後に職場復帰するなど年度途中の保育所の入所希望が増加していることや、関東地方など都市部に就職先を求める保育士が増えていることが懸念です。

- ・ まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合
／○ 順調に進捗

平成29年度以降、減少傾向にあります。乳児家庭全戸訪問等事業や産後ケア事業など、出産後の保護者に寄り添った支援が子育ての不安感や孤立感の解消につながったものと考えられます。また、子ども家庭総合支援センターと子育て世帯包括支援センターの連携により、市としての相談受付体制が強化されたことも要因の一つです。しかし、核家族化の進行を背景に、子育て支援ニーズが多様化・複雑化しており、妊娠期・出産期から就学期に至るまでの切れ目のない支援と、社会全体で子育てを支える機運の醸成が求められています。子育ての負担感を改善しうる水準には至っていません。

- ・ まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合／△ 遅れが生じている

平成30年度に比べて微減しました。もりおか子育て応援プラザの運営により、子育て中の親子の交流が促進されましたが、児童数が増加している盛南地区において地域子育て支援拠点が求められていること、児童センターが未設置の小学校区において、身近に遊べる施設がない（少ない）ことが指標が伸び悩んでいる要因と考えられます。また、市の子育て支援策がより市民に伝わるよう周知方法を工夫する必要があると考えられます。

■ 主な成果と課題

- ・ 年間を通じた待機児童の解消

児童福祉施設の整備支援や遊休物件を活用した小規模保育所整備支援を行い、認可保育所や小規模保育所等の定員拡大を進め、令和2年4月入所に向けて375人の定員拡大を行いました。また、131名への保育士奨学金返還支援補助や110名への保育士宿舍借り上げ支援事業補助、119名への若手保育士処遇改善事業補助を行い、保育士確保に繋がりました。

一方で、女性の社会進出増加等により年度途中の保育所の入所希望が増加しており、特に盛南地域や都南地域において、待機児童の解消の取組が追いついていません。また、都市部に就職先を求める保育士が増えており、更なる保育士の確保が課題となっています。

- ・ 育児不安解消への取組

乳児家庭全戸訪問のほぼ100%の実施や産婦健康診査や産後ケア事業により、出産後の子育ての不安感や孤立感の解消につながりました。また、子ども家庭総合支援センターと子育て世代包括支援センターとの連携を図り、相談受付体制が強化され、児童家庭相談受付件数が平成30年度の5,143件から令和元年度は7,267件と、大幅に増加しました。さらに、医療費について、小学生の現物給付化及び乳幼児の無料化を実施し、子育て世代の経済的負担を軽減することができました。

児童センターについては、「放課後の居場所づくりの方針」に基づき、未設置の小学校区への計画的な整備を進めるとともに、児童厚生員の配置基準を見直し、安心・安全な居場所づくりを推進しました。また、放課後児童クラブについても、方針に基づき計画的な整備に取り組んでいます。

まちづくり評価アンケートで「子育てをつらいと感じている」割合は一定の改善が見られたものの、依然として高い水準にあり、妊娠期・出産期から就学期に至るまでの切れ目のない支援、社会全体で子育てを支える機運が子育ての負担感を改善しうる水準に至っていません。また、児童数が増加している盛南地区において地域子育て支援拠点が不足しているほか、児童虐待等の相談件数も増加しています。

■ 今後の方向性

待機児童の解消に向けて、今後の女性の社会進出や潜在的な保育需要を踏まえ、低年齢児を中心に保育施設の定員を確保します。また、保育士確保策の充実を図るとともに、潜在保育士の掘り起こしに取

り組みます。

子育て負担の軽減と子育て支援の充実については、児童数が増加している盛南地区への地域子育て支援拠点の開設を検討するほか、幼児教育・保育の無償化に加えて第2子以降の保育料の無償化や実費徴収となった副食費の補助、放課後児童クラブの利用料等の軽減など、子育ての経済的負担の軽減を図ります。放課後における児童の居場所の確保については、「放課後の居場所づくりの方針」に基づき、児童センターと放課後児童クラブを計画的に整備します。また、医療費給付事業の拡大について、市民等から要望があることから、継続的に検討を行います。

重点3 2020あつまる・つながるまちプロジェクト（取組期間：平成30年度～令和2年度）

本市を訪れる旅行客が満足し、選ばれる観光地域となるため、歴史や自然、文化などの恵まれた観光資源を生かし、ブラッシュアップするとともに、国内外からの観光客受入態勢の整備を進めるほか、様々な媒体を通じ、本市の魅力を積極的にプロモーションしました。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運を高め、ホストタウン事業などに取り組むとともに、MICEの誘致や盛岡ファンづくりを推進するなど、交流人口を増やし、魅力があふれるまちづくりを推進しました。

重点事業の実績

(単位 千円)

No.	重点事業	施策番号	計画額	実績額	翌年度繰越額
1	芸術文化活動振興事業 (盛岡国際俳句大会)	12	6,000	6,000	0
2	盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業	13	39,553	34,691	0
3	生涯スポーツ推進事業 (いわて盛岡シティマラソン)	14	30,000	30,000	0
4	生涯スポーツ推進事業 (クライミングアジア選手権2020)	14	4,419	431	0
5	地域おこし協力隊活用事業（スポーツを通じた盛岡広域の魅力発信）	13	4,000	3,876	0
6	盛岡ブランド確立事業	14	3,634	2,655	0
7	盛岡地区かわまちづくり事業	14	3,000	2,319	0
8	移住・定住・交流人口対策事業	14	20,407	19,459	0
9	地域おこし協力隊活用事業 (盛岡の魅力PR, 移住・定住の促進)	14	16,000	13,938	0
10	いしがきミュージックフェスティバル支援事業	19	4,000	4,000	0
11	盛岡三大麺普及事業	22	295	295	0
12	(再掲) 地場・伝統産業振興事業 (特産品ブランド振興事業)	23	194	77	0
13	広域観光推進事業 (外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業)	24	6,277	583	0
14	盛岡デー等観光PR事業 (盛岡市の物産と観光展開催事業)	24	3,100	3,100	0
15	盛岡デー等観光PR事業 (盛岡デー開催事業)	24	3,400	3,400	0
16	盛岡デー等観光PR事業 (東北六都市連携による誘客プロモーション事業)	24	1,974	2,567	0
17	盛岡デー等観光PR事業 (岩手もりおか復興フェスタ開催事業)	24	3,784	1,634	0

(単位 千円)

	重点事業	施策 番号	計画額	実績額	翌年度 繰越額
18	M I C E 誘致推進事業	24	24,000	14,045	0
19	都市公園整備事業（補助） （木伏緑地整備）	26	29,131	29,838	0
20	姉妹都市等国際交流事業 （ホストタウン機運醸成事業）	28	1,227	53	0
全20事業 事業費合計			204,395	172,961	0

- ・ **生涯スポーツ推進事業（クライミングアジア選手権2020）**

主催者事情により、大会開催中止が決定し、実行委員会で既支出済の費用のみの支出となったことにより、実績額が小さくなりました。

- ・ **盛岡ブランド確立事業**

年度末に実施予定であった職員向けマーケティング研修をコロナウイルスの影響により中止としたほか、盛岡市シティプロモーション指針及び推進計画の策定に伴い、事業内容を見直したことにより、実績額が小さくなりました。

- ・ **地場・伝統産業振興事業（特産品ブランド振興事業）**

3回予定していた盛岡ブランド品認定審査会が、プレミアムブランド品の申請数が少なかったことから、1回の開催にとどまったため、実績額が小さくなりました。

- ・ **広域観光推進事業（外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業）**

東北観光復興対策交付金が不採択となり、台中国際旅行展覧会については職員派遣を行わず、ブース出展のみとし、タイ国際旅行フェアへの出店を取りやめたため、実績額が小さくなりました。

- ・ **盛岡デー等観光PR事業（東北六都市連携による誘客プロモーション事業）**

新国立競技場オープニングイベントの出演により、当初予定していたより事業規模が大きくなり、それに伴う負担金額が増額となったことにより、事業費が大きくなりました。

- ・ **盛岡デー等観光PR事業（岩手もりおか復興フェスタ開催事業）**

当初予定していた岩手もりおか復興フェスタの開催会場が変更となり、規模が縮小され、運営費等が減額になったことにより、事業費が小さくなりました。

- ・ **M I C E 誘致推進事業**

国際会議や全国規模の大会等については、通常、前年若しくは前々年に開催が決定されている場合が多く、想定よりも申請件数が伸びなかったこと及び2月、3月開催予定の大会等について、コロナウイルス感染症の影響によりキャンセルが3件（1,900千円）あったことにより、実績額が小さくなりました。

- ・ **姉妹都市等国際交流事業（ホストタウン機運醸成事業）**

周知イベントについて、市内大型ショッピングモール等での開催に向け企画していたものの、岩手県、民間企業による同様のホストタウン関連事業が同会場で複数回実施され、盛岡市も参画したことから、類似事業の開催で得られる効果が乏しいと判断し、開催を見送りました。このことにより、実績額が小さくなりました。

■ 指標の状況

指標	性格	単位	状況	施策の目標値・実績値の推移																		
観光客入込数*	↑	万人回	◎	<table border="1"> <caption>観光客入込数推移</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>472</td><td>497</td><td>509</td><td>500</td><td>500</td><td>508</td><td>519</td><td>504</td></tr> </table>	年度	当初値	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	472	497	509	500	500	508	519	504
年度	当初値	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2														
実績値	472	497	509	500	500	508	519	504														
外国人観光客入込(宿泊客)数	↑	人回	◎	<table border="1"> <caption>外国人観光客入込(宿泊客)数推移</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>23,649</td><td>34,249</td><td>53,432</td><td>65,597</td><td>50,000</td></tr> </table>	年度	当初値	H29	H30	R1	R2	実績値	23,649	34,249	53,432	65,597	50,000						
年度	当初値	H29	H30	R1	R2																	
実績値	23,649	34,249	53,432	65,597	50,000																	
地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」	↑	位	◎	<table border="1"> <caption>地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」推移</caption> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>117</td><td>62</td><td>90</td><td>46</td><td>50</td></tr> </table>	年度	当初値	H29	H30	R1	R2	実績値	117	62	90	46	50						
年度	当初値	H29	H30	R1	R2																	
実績値	117	62	90	46	50																	

* 平成25年度の実績値を基準に目標値を想定しています。

・ 観光客入込数／◎ 非常に順調に進捗

昨年度に引き続き、令和2年度目標値を達成しました。盛岡デーや各種物産展等の開催、盛岡さんさ踊りの首都圏プロモーションによる誘客宣伝や、若者に人気の高いインフルエンサーを活用して、首都圏の若者をターゲットとした観光情報を発信できたことが要因と考えられます。しかし、観光関連事業者については、3月頃から新型コロナウイルス感染症の影響が出始め、現在も収束の見通しが立っていないことから、指標の向上に向けた誘客促進の取組が出来ない状況になっています。

・ 外国人観光客入込(宿泊客)数／◎ 非常に順調に進捗

昨年度に引き続き、令和2年度目標値を達成しました。いわて花巻空港の中国定期便が就航開始し、インバンドの利便性が向上したことや、外国人観光客の受入環境を整備したことが要因と考えられます。しかし、国内外における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、外国人観光客の誘客に寄与するいわて花巻空港の国際定期便(台湾・中国)が、令和2年12月末まで運休するなど、海外からの渡航が困難な状況になっています。

・ 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」／◎ 非常に順調に進捗

令和2年度の目標を達成しました。英語版フォトブックを企画制作し、ゲストハウスに配架することにより、外国人を中心に盛岡の認知度を向上させることができたと考えられます。また、関係人口を機軸とした移住・定住・交流人口対策事業として「盛岡という星で」プロジェクトを立ち上げ、情報発信や首都圏における盛岡コミュニティ形成を行ったことも一因と考えられます。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、英語版フォトブックの配布活動や、情報発信を効果的に行うためのマーケティング研修が中止となるなど、今後の状況が懸念されます。

■ 主な成果と課題

・ 観光客誘致等の取組

盛岡デーや各種物産展等の開催を通じた誘客宣伝や平成29年からの「東北絆まつり」の東北6県の県庁所在地での開催や首都圏プロモーションでの盛岡さんさ踊りによる誘客宣伝効果により、交流人口が拡大しました。また、各種祭りの主催団体への補助や開催支援により、年間を通じて祭り・イベントの充実を図りました。MICE制度については、関係団体や民間事業者等と連携した誘致推進の

取組により、助成件数は前年度の18件を上回る22件となりました。今後については、開催件数の安定化と向上に向けて、引き続き関係団体や民間事業者等と連携して誘致促進に取組むとともに、コンベンション会場を優先的に確保する仕組みの検討など、選ばれる都市としての魅力と優先度の向上を図る必要があります。

いしがきミュージックフェスティバルは、前年に引き続き写真展の併設、花火の打ち上げを行い、雨天の中での開催でしたが、過去2番目に多い来場者で賑わいました。一方で、メイン会場の盛岡城跡公園の使用制限や事業継続と誘客拡大のため資金確保が課題となっています。

・ 外国人観光客等の誘致拡大

訪日外国人観光客の増加に伴い、盛岡市への入込（宿泊客）数は前年比1.2倍に増加しました。いわて花巻空港の台湾定期便に加えて、中国定期便が就航開始したことから、国際定期便によるインバウンドの利便性が向上したことや「東北絆まつり」の東北6県の県庁所在市が連携して、祭りの紹介を含めた海外プロモーションや東北を対象とした旅行商品の開発、販売、広域振興局の枠組みによる国際旅行博への出展による海外プロモーションによる誘客宣伝が増加の要因となっています。今後は、Wi-Fi設備環境の整備や多言語表記による観光ツールの整備とともに、従来の国際旅行博への出展による海外プロモーションのほか、広域連携による商談会や観光コンテンツなどのプレゼンテーションの開催など、より実践的な海外プロモーションに取り組む必要があります。

・ 盛岡市の魅力度向上

広報もりおかの情報発信と、ブランドフォーラムのテーマを結びつけるなど、個別の事業に関連性を持たせ、効果的な普及啓発を行うことができました。外国人旅行者に向けた、英語版フォトブックによるプロモーション活動や、盛岡暮らしを経験したことのある首都圏の若者に向けたSNS等による情報発信など、訴求する相手方（ターゲット）によって手法を使い分け、効果的な情報発信を行うことができました。

また、県内外から9,000人以上が参加した「いわて盛岡シティマラソン2019」は、石割桜や岩手銀行赤レンガ館、盛岡八幡宮などの中心市街地、盛南地区の新しい街並み、そして、紅葉に囲まれた御所湖など、「盛岡の魅力が体感できるコース」としたため、広く盛岡市の魅力を発信できたとともに、ボランティアとしての大会参加や沿道での声援を通して市民の一体感の醸成にもつながりました。

■ 今後の方向性

東京2020オリンピック・パラリンピック等を契機とした事前キャンプの誘致や、いわて盛岡シティマラソンをはじめとした全国規模のスポーツイベントの継続実施、国内外のスポーツ大会の誘致に取り組むほか、東北六都市連携によるプロモーションにおいても一層の誘客拡大を目指し、夏祭りや食の魅力等をテーマに広域観光ルートの提案を行い、周遊型・滞在型観光を促進します。

外国人観光客の更なる誘致拡大に向け、広域連携によるプロモーションを強化するとともに、Wi-Fi環境整備のほか、写真やピクトグラムを活用するなど、受入環境の整備を推進します。

盛岡市シティプロモーション指針及び推進計画（令和2年度～6年度）を策定したことから、これに基づき、個々のターゲットに応じた効果的な情報発信によるプロモーションを検討します。

新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれることから、感染予防対策の徹底を図りながら、社会経済活動の回復に向けて観光需要の喚起策に取り組むとともに、Wi-Fi環境や多言語による観光案内など、国内外の観光客の受入環境の整備を推進します。